

“鮮度一番！”

No.208

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

- 1 / 柳田国男『地名の研究』を読む 第5便
- 2 / ひとことコラム
- 2～4 / 運営委員会で話されたこと
- 4 / 「敬老」について考える 編集後記

柳田国男『地名の研究』を読む

「アワラ」

第5便

北陸の温泉の一つに芦原温泉があります。このアワラ、「どんな字病」に罹ってしまうと、芦がはえている原っぱと解釈したくなります。地名は漢字からではなく、発音から考えるべきと柳田国男は繰り返し述べます。地名に植物の漢字が付いているからといって、必ずしも語源がその植物に由来するとは限りません。アシハラと読むべきところをアワラと読むあたり、語源が別だと疑う必要があります。

柳田は『地名の研究』で、甲府盆地の阿原の事例を取り上げます。ここは、水害常習地で、全国の事例から、アワラは、池、沼、泉、湧水、滝など水に関する地名だと指摘します。アワラ田は下田（げでん）の深泥の田と、湿地の事例も紹介しています。富山県高岡市にあった地名に、凧・アワラがあります（今尾恵介『地名の楽しみ』ちくまプリマー新書）。凧は泉と同義で、凧・アワラは当て字ですが、アワラ地名の本質を突いているといえます。（杉野真司・H28.8.2）



阿部 正剛

先日、学生時代の友人と20数年ぶりに会ってきた。その友人とは電話で話をすることはあったが私用で新潟に来るといので、久しぶりに会おうということになり出掛けていった。卒業してから顔を合わせる事がなかったので約束の場所で落ち合っても分からないんじゃないかと心配だったが、まだ面影が残っていて、たぶんこの人だなと見当をつけ「〇〇さん」と声を掛けてみると「あ～阿部さん」と返事を返してくれてほっとした。私の方は学生時代の面影は全くなくなって鏡を見るのも怖いくらいなので友人がうらやましい。

学生時代の友人は、授業が終わると夜は新宿でバーテンしながら学費を自分で稼いでいた苦労人ではあるが、4歳年上で何事にも積極的で行動力のあるいわゆる兄貴肌で遊びの先生だった。彼女はいつも3～4人いて、店に飲みに来るお客、通っている美容院の美容師、伊勢丹や丸井のデパガ、劇団の女優の卵・・・となんだか分からなくなるくらいだった。容姿はそれほどカッコイイ訳ではないのになぜかモテた。持ち前の積極性と行動力で断られてもめげずに口説き続け（今ならストーカー行為になるが）彼女にしていた。この度は奥さん（結局、高校時代に付っていた地元の女性と結婚したが）と一緒に来ていたのでソナ話はまったくしなかったが、気分だけは時間が遡って学生時代に戻った。

そんな彼も子どもが生まれると持ち前の積極性と行動力を女性から仕事へ方向転換したようで、4人の子どもを育て上げ、末っ子が今春大学を卒業して社会人になってやっと肩の荷が下りたと笑顔で話していた（人間変わるものだな～と時の流れが恐ろしくなった）。思い出話も一通り終わり親の介護や生命保険の話になると、お互いもう若くないんだな～と急に現実に引き戻されて話が楽しかった分寂しさも味わった複雑な一日だった。

運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成28年8月3日（水）（AM9：30～11：30）

場 所 男女共同参画センター（桜木町）



残暑お見舞い申し上げます。みなさまお元気にお過ごしですか？

84歳の母が、草刈の最中、顔に添え木が刺さりケガをしてしまいました。慣れている仕事でも、暑さで注意もゆるみます。注意一秒怪我一生、くれぐれもケガ、事故に合わないように気をつけましょうね！ 次回の運営委員会は、9月7日（水曜日）9：30～男女共同参画センターです。どなたでもおいでください。

1.

燕三条エフエム放送（ラヂオは～と76,8MHz）ワイワイ女性ひろば

●本放送 毎週金曜日 11:00～11:30 ●再放送 毎週水曜日 19:30～20:00

8月のテーマ 「健康づくりとまちづくり」

- ①歩く人が多い町・少ない町
- ②ポイントをためて健幸づくり
- ③健康格差をつくらない
- ④ありのままの個性輝くまち

メンバー：近藤晴美（三条市福祉部健康づくり課課長）

今井 寛（株）フリーダムカンパニー代表取締役）

野崎ミチコ、田辺とも子

「転びやすい町と転びにくい町があり、毎日 30 分以上歩く人を増やすと、町レベルで転倒が減らせそうなことが分かってきた。」という記事を見つけました。これからの人口減少、超高齢化社会に生きるわたしたちが、健康づくりに対して、目的を見すえた意志をもつことの大切さが良く理解できる記事でした。「分かっちゃいるんだけどね～」とイマイチ消極的な私ですが、三条市が発行している「健幸マイレージ手帳」のちょっとお得な情報にところが動きました。また、三条マルシェに長く関わっている今井さんから、にぎわうマルシェの様子をお聴きするうち、「また行ってみようかな」と久々の意欲が。厚労省が提唱する「1に運動、2に食事、しっかり禁煙、最後に薬」を収録メンバー一同で唱和して締めくくりました。どうぞお聴きください。(田辺)

2.

男女共同参画推進フォーラム(8/26から28)について

今年も上記フォーラムへ、市より参加者募集のお知らせが届きました。

日時・日程は、8月27日(土)午前10時から始まるワークショップへ参加するため、市役所を朝6時に出発して、午前は各自ワークショップへ参加、午後はシンポジウム「男もつらいよ！～男性の働き方改革とワーク・ライフ・バランス再考～」へ参加して、帰りは、高速のパーキングで楽しいお買い物をして、午後7時頃市役所到着の予定です。当会からは、西方・安室・米田が参加します。研修ではありますが、1日合計6時間のバスの旅、よもやま話でリフレッシュしませんか？おいしいモツ煮こみもお買い物できますよん！！

3.

三条市より2つのお知らせ

◆働く親と子のコミュニケーション講座

～働きながら、子どもの可能性を伸ばすコーチング～

- ★日 時：9月3日(土)13:30～15:30
- ★講 師：土田陽子さん(ハートフルコミュニケーション理事)
- ★会 場：三条市男女共同参画センター(三条ものづくり学校内)
- ★対 象：幼児～小学校低学年の子どもを持つ保護者20名
- ★保育ルーム：定員10名(生後6ヶ月～小2まで)保育料200円
- ★申込・問合せ：ワーキングウイメンズアソシエーション(西條)
電話/FAX025-233-5983 Eメール：wwa-admin@wwa-n.com

参加費無料!

◆(公財)新潟県女性財団地域セミナーin三条

働く女性のためのスキルアップセミナー(2回連続講座)

第1回「見つけよう!

素敵なライフデザイン」

- ★日 時：9月17日(土)
13:30～15:30
- ★講 師：角張慶子さん
(新潟県立大学人間生活学部
子ども学科准教授)
- ★会 場：三条市男女共同参画センター
(三条ものづくり学校内)

第2回「私を磨く!

伝わるコミュニケーション術」

- ★日 時：10月8日(土)
13:30～15:30
- ★講 師：菊野麻子さん
(フリーアナウンサー)
- ★会 場：ソレイユ三条 音楽室兼集会室

※両講座とも参加費無料、保育ルーム有り。

申込・問合せ：地域経営課地域振興係 電話 34-5624 Eメール：chiikikeiei@city.sanjo.niigata.jp

4.

外への働きかけについて

当会の宣伝、新会員獲得のために、三条マルシェへ参加してはとの意見がありました。安室さんの着物をリフォームして作ったコートが、とても素敵なので、「着物リフォームファッションショー」や、開業助産師の西方さんによる育児相談、はては、楽しい篠笛演奏なんかも出来るのではと話し合いました。会員の皆様で、何か良いアイデアやご協力いただけること等がありましたら、お聞かせください。もちろんお金の稼げるアイデアも大歓迎です!!!

「敬老」について考える

米田美智子

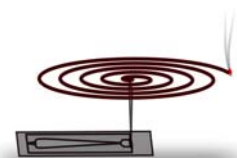
女性どうしのたわいない会話から、この文章を書くきっかけが生まれた。その時のおしゃべりの内容は記憶にないが、私が「私は「敬老の日」は嫌いよ」と言ったら「じゃあ、文章にして」と言われ、今、ここに書いている。「嫌い」という気持ちはホンネそのままだが、なぜ嫌いなのか考えてはこなかったのが、今から考える。きっかけは、市役所の窓口で職員をどなり散らしているおじいちゃんを見たことかも知れない。「私の番はいつくるの」と、イライラしていた私は、通りがかりの一老女となって、「すみません、声が響きわたっていますよ。」と言ってその場を去った。声の響きはすぐにおさまったが、後部の部課長さんたちは、なぜ沈黙していたのと今でも思う。部課長さんたちの頭を支配していたのは「敬老」「市民」という言葉ではなかったか。ならば、私が10歳まで支配されていた「愛国心」「一億一心火の玉」「鬼畜米英」の作用と同じではないか。たとえ「敬老の日」があろうと暴言を吐き続ける老人に何の反応もしない、できないというのは、人間、社会人としておかしい、と生意気にも思ってしまう。コトバにコントロールされるのでなく、私たちの明日をつくるため、今、ここではどんな言葉、行動が必要なのか、その都度考える習慣を持たなければと思う。言葉を発すれば、時により対立が生まれる。その対立もまた、互いに知恵を出し合い、対話し合えば、互いのレベルアップ、成長につながるはずだ。

編集後記：

お盆が終わり、涙涙のオリンピックが終わりました。寝苦しい夜を吹き飛ばしてくれたメダルの嵐。4年後の東京開催に向け大きな追い風を送ってくれた選手の皆さんに感謝感謝です。

今度は我が家の一大イベント稲刈りに、皆さんにももらった元気で、この猛暑の中でも乗り切れるはずの気持ちで、トリプル台風の壁に「ポキッ」。相手が台風では勝てません。残念！

暑さに負けず充実の誌面に仕上がった鮮度一番208号、どうぞ隅から隅までお読みください。(原)



編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 TEL 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>